

総合計画市民検討協議会 第5回報告書（都市基盤・産業部会）

記録者	曾田 昇吾	場所	市役所北庁舎第 1～3 会議室	
開催日時	平成24年4月7日（土） 午前9時30分 ～ 正午			
出席者 (12名)	明石 光子	足立 和代	市川 純一	大室 元
	齊藤 秀雄	増田 英一	森田 敏雄	山田 政明
	須田 茂也	曾田 昇吾	山田 敦	吉岡 知洋
傍聴者	1名（ ）			

基本目標	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
基本施策	7 商工業の振興
めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)	
<p>(市民を主語にすると考えやすい ※計画の推進にあたっては一部該当せず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 観光資源を無駄なく活用できるまち ◆ 充実した買い物ができるまち 	
主な課題	
<p>(めざすまちの姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを課題と捉えると考えやすい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>観光を活かした商業の活性化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光施設の情報発信不足している。 ・ 公共の観光施設の間でのきめ細やかな連携がとれていない。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 魅力の発信は、個別ではなく一つにまとめて大々的に行う。(イベント、パンフレット等) ・ 市外の人が魅力を感じる文化の活用が不十分である。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 府中にゆかりのある顕著な人物(浦沢直樹氏など)と協力し、漫画、小説、音楽などのポップカルチャーを活用したイベントの推進。(スタンプラリーなど) ⇒ 近隣市が行っていたように(新撰組などを活用したイベント等)、市全体での大きな事業を行う。 ○ <u>市内における商業満足度の向上</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府中市内だけの買物の完結が困難である。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 他市区のように、多様な店を集める。(吉祥寺や中野など) ・ 市内でお金が循環する仕組みが築けていない。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 大規模な土地への商業施設の誘致。 ・ 生活に必要な店が、地域ごとに集約されていない。 ・ 買物がしづらい環境となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 商業施設内における育児施設の充実やバリアフリーの進展。 	

○ 行政と民間との協力の推進

- ・ 公共的な施設と商業の連携が不足している。
⇒ 公共施設への商業施設の取り入れや、歩行者天国での大規模なイベントなどを行う。
- ・ 市の取組みや制度のPRが不十分である。
- ・ 市と商店の連携の推進が不足している。
⇒ 商店が企画をし、市がPRして人を集めるなどの協力したイベントの開催。(世代間の仲を深めるための、商店を使ったまちコンなど)
⇒ 市と商工会議所が話し合う場を増やす。

○ 他市からも魅力のある商店の創出

- ・ 施設の誘致を行ったが、にぎわいの創出につながっていない。
⇒ 市に利益をもたらす施設を考えて誘致する。
- ・ 他市区との差別化が不十分である。
- ・ 若い世代が、商業の分野でチャレンジする場所が不足している。
- ・ 他市区から人が集う店舗が不足している。
⇒ ケーキを食べられるカフェなどを充実させる。
- ・ 地域ごとの魅力の活用が不足している。
⇒ 特区制度などの活用をする。(旧甲州街道周辺や宮西町周辺地区など)
- ・ 地域をつなぐにぎわいが不足している。
⇒ つながりのある地域の間で、商業を活性化させていく。(府中－府中本町間、府中－分倍河原間など)
- ・ 大規模な店舗と小規模な店舗の連携が不十分である。
⇒ 大規模な店舗による魅力と、商店街などにおける小規模店舗の集まり(高円寺など)における魅力の連携を図る。

役割分担の考え方

【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

- ・ 意識を高め、積極的な取組みを行う。
- ・ 市外のものとの協同を進める。

【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・ 市や商店の情報を広く発信する。
- ・ 行政と民間の連携を進める。

その他 提案事項

(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)

- ・ 特になし
- ・

事務局への連絡事項

当日配布されたアンケート結果なども考慮して話したいため、参考資料を事前に送付してほしい。

総合計画市民検討協議会 第5回報告書（都市基盤・産業部会）

記録者	曾田 昇吾	場所	市役所北庁舎第 1～3 会議室	
開催日時	平成24年4月7日（土） 午前9時30分 ～ 正午			
出席者 (12名)	明石 光子	足立 和代	市川 純一	大室 元
	齊藤 秀雄	増田 英一	森田 敏雄	山田 政明
	須田 茂也	曾田 昇吾	山田 敦	吉岡 知洋
傍聴者	1名（ ）			

基本目標	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
基本施策	8 都市農業の育成（前半）
めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)	
<p>（市民を主語にすると考えやすい ※計画の推進にあたっては一部該当せず）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 他市に誇れる府中の農業の確立 ◆ 有効な農地の利用ができています 	
主な課題	
<p>（めざすまちの姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを課題と捉えると考えやすい）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>市の農産物流通の強化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で作られた農産物の流通が不十分である。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 梨や小松菜など、市内で作られた作物の情報を発信する必要がある。 ・ 府中名産の特産物がない。（稲城市の梨など） ○ <u>農作物を扱う施設の利便性の向上</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物を売る施設の営業時間や定休日の条件から、利用がしづらい。 ・ 農作物を扱う施設が各々分散している。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 他団体と協力し、大規模な農業に対する取組みを行う。（道の駅への参加など） ○ <u>学校と市の連携</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物の新製品の開発の取組みについて、学校などの公益施設との協力が不足している。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 大学や高校の取組みに市が補助をし、連携した取組みを推進する必要がある。 ○ <u>使われていない農地の活用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民農園の需要に対し、供給が不足している。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 利用されていない農地を、市民農園としての利用拡大を検討する。 	

役割分担の考え方	
【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意識を高め、市民一人ひとりが農業に携わるようにする。 ・ 学校や団体などとの連携を強化する。 	
【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と協力し、積極的な情報発信を行う。 ・ 市民が農業に関わることができる場をつくる。 	
その他 提案事項	
<p>(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回も引き続き、都市農業の育成のテーマを話し合う。 	
事務局への連絡事項	特になし